

第8回住吉中学校ブロック小中連携校開校準備委員会

開催日時 平成24年10月16日（火） 19:00～20:30

会 場 福岡市立住吉中学校 図書室

次 第

1 開会

2 議事

（1）施設部会の報告

（2）「校章・校歌」について

3 事務連絡

4 閉会

住吉中学校ブロック第8回施設部会報告

1 開催日時、会場

平成24年9月5日（水）19:00～20:00 住吉小学校プレハブ2階会議室

2 議題

○学校施設の開放について（資料1）

○報告

- ・住吉中ブロック小中連携校新設工事実施設計の中間報告（資料2）
- ・美野島小学校校舎の解体工事について（資料3）

3 協議結果

学校施設の開放について

○現在行われている学校施設の地域開放

- ・住吉小学校：昼間校庭開放事業、体育館開放事業、プール開放事業
- ・住吉中学校：校庭夜間開放事業

※上記の事業は本市において実施している開放事業であるが、別途学校の裁量により、学校教育に支障のない範囲で下記施設を開放している。

- ・住吉小学校：体育館、運動場
- ・住吉中学校：体育館、柔剣道場

○新設校における開放の対象施設

- ・開放の対象施設については、現状の開放状況を踏まえ、

① 運動場、② 体育館、③ 柔剣道場、④ プール

以上の施設を開放することとする。

○対象施設の開放の考え方

- ・昼間校庭開放事業及び体育館開放事業は新設校においても現行どおり実施する。
なお、現在別途学校の裁量により実施している体育館、柔剣道場の開放についても学校教育に支障のない範囲で引き続き実施する。
- ・校庭夜間開放事業については、第2グラウンドとして使用する現住吉中グラウンドにおいて現行どおり実施することとし、新設校グラウンドは小学生の放課後の遊びや活動の場として確保する。

※利用団体間の調整を行う組織は今後別途検討する。

○プールの開放については、以下の3つのケースを基に検討を行った。

現状

住吉小学校は夏季休業中の10日間(24年度実績)、校区内の小学校児童に対して開放を実施。 ※市内の中学校ではプール開放は行っていない。

○ ケース① 現状どおり

○ ケース② 夏季休業中を含む6月～9月の期間において一般開放を行う

【懸案事項】

- ・個人での利用が中心となり、不特定多数の市民が学校施設に入ることになるため、開放期間中は相応のセキュリティ対策が必要。また、アクセサリなどの落下物による事故や、化粧による水質汚濁に十分留意が必要。
- ・一般開放に伴い別途維持管理経費が生じるが、この経費については利用者に応分の負担をお願いする必要がある。

【利用料金設定の例】

※開放時間は、平日 17～21 時・土日祝日 10～21 時で試算したもの

- ・必要経費：4,600,000円
- ・同時期の博多市民プール利用者数(3万人)の1/4が利用した場合を想定
 $4,600,000円 \div 7,500人 \approx 610円$

○ ケース③ 年間を通し一般開放を行う

【懸案事項】

- ・不特定多数の市民が年間を通して学校施設に入ることになるため、さらなるセキュリティ対策や水質の維持管理が必要。
- ・新設校のプールは学校施設としての整備を行うため、市民プールやスポーツクラブなどと同水準のサービスを提供することは困難。

【利用料金設定の例】

※開放時間は、平日 17～21 時・土日祝日 10～21 時で試算したもの

- ・必要経費：24,800,000円
- ・博多市民プールの年間利用者数(6万2千人)の1/4が利用した場合を想定
 $24,800,000円 \div 15,500人 \approx 1,600円$

【協議結果】

施設部会において以上の3つのケースを基に検討を行った結果、プールの開放については以下の理由から、ケース①の「現状どおり」（夏季休業中に限り、校区内の小学校児童に対して開放）とし、一般開放は行わないことで意見が集約された。

- ・運動場や体育館開放の団体利用と違い、プールの一般開放は主に個人利用となるため、セキュリティ面での不安が大きい。
- ・一般開放では市民が利用対象となるため、利用指導が行き届きにくくなり、アクセサリーやヘアピンなどの落下物による事故や水質保持の面で不安がある。
- ・一般開放によって生じる経費の利用者負担の試算では、利用料金がかなり高額となり利用者への負担が大きい。

4 報告事項

住吉中ブロック小中連携校新設工事実施設計の中間報告

○資料2のとおり

美野島小学校校舎の解体工事について

○資料3のとおり

学校施設の開放について

1. 現在行っている学校施設の地域開放について
2. 新設校における開放の対象施設について
3. 対象施設の開放の考え方
4. 利用者の動線計画
5. プールの開放について

◎学校施設の開放について

1. 現在行っている学校施設の地域開放について

○住吉小学校

- ・ 昼間校庭開放事業

}	対 象：幼児及び児童、生徒
	開 放 日：土日祝日、夏季休業などの長期休業日
	開放時間：土日祝日10:00～17:00
	長期休業日13:00～17:00

- ・ 体育館開放事業

}	対 象：団体登録制による一般開放
	開 放 日：土日祝日
	開放時間：土曜14:00～18:00 日祝日9:00～18:00

- ・ プール開放事業

}	対 象：校区内の小学校児童
	開 放 日：夏季休業中の10日間（24年度実績）
	開放時間：10:00～15:00

○住吉中学校

- ・ 校庭夜間開放事業

}	対 象：団体登録制による一般開放
	開 放 日：4月～11月
	開放時間：18:00～21:00

※上記の事業は本市（市民局、こども未来局）において実施している開放事業であるが、別途学校の裁量により、学校教育に支障のない範囲で下記施設を開放している。

○住吉小学校：体育館、運動場

○住吉中学校：体育館、柔剣道場

2. 新設校における開放の対象施設について

現状の開放状況を踏まえ、新設校においても下記施設を開放することとする。

- ・ 運動場 ・ 体育館 ・ 柔剣道場 ・ プール

3. 対象施設の開放の考え方

○昼間校庭開放事業、体育館開放事業については、新設校において現行どおり実施する。

なお、現在、開放事業以外に別途学校の裁量により実施している体育館、柔剣道場の開放についても、学校教育に支障のない範囲で実施する。

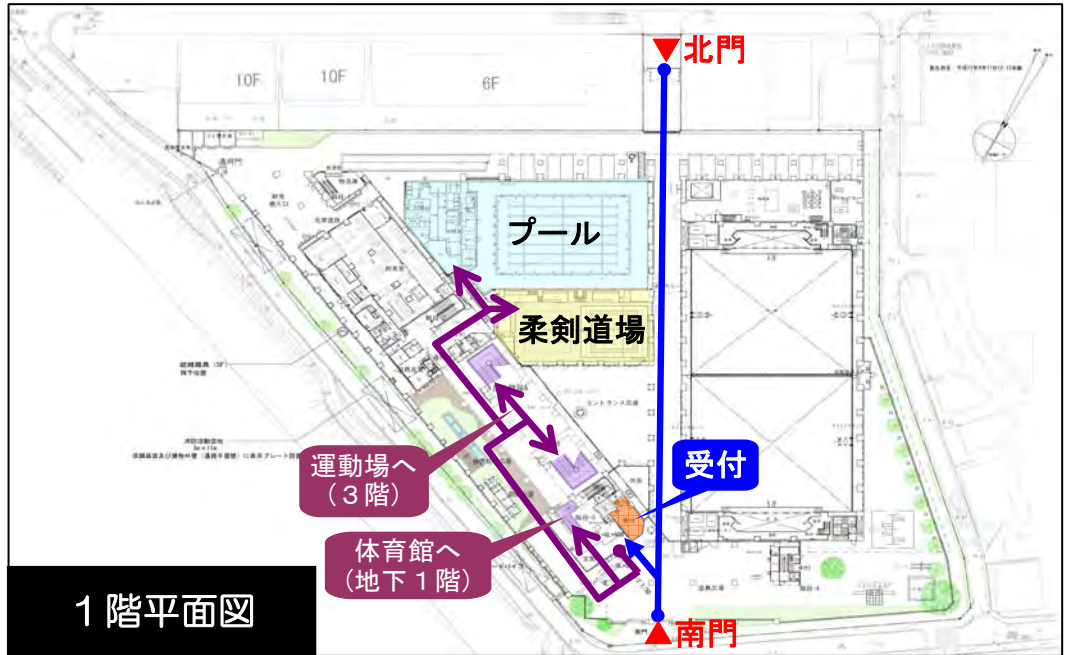
○校庭夜間開放事業については、第2グラウンドとして使用する現住吉中グラウンドにおいて現行どおり実施することとし、新設校グラウンドは小学生の放課後の遊びや活動の場として確保する。

○プール開放について、開放の時期及び対象などを3ページで別途検討。

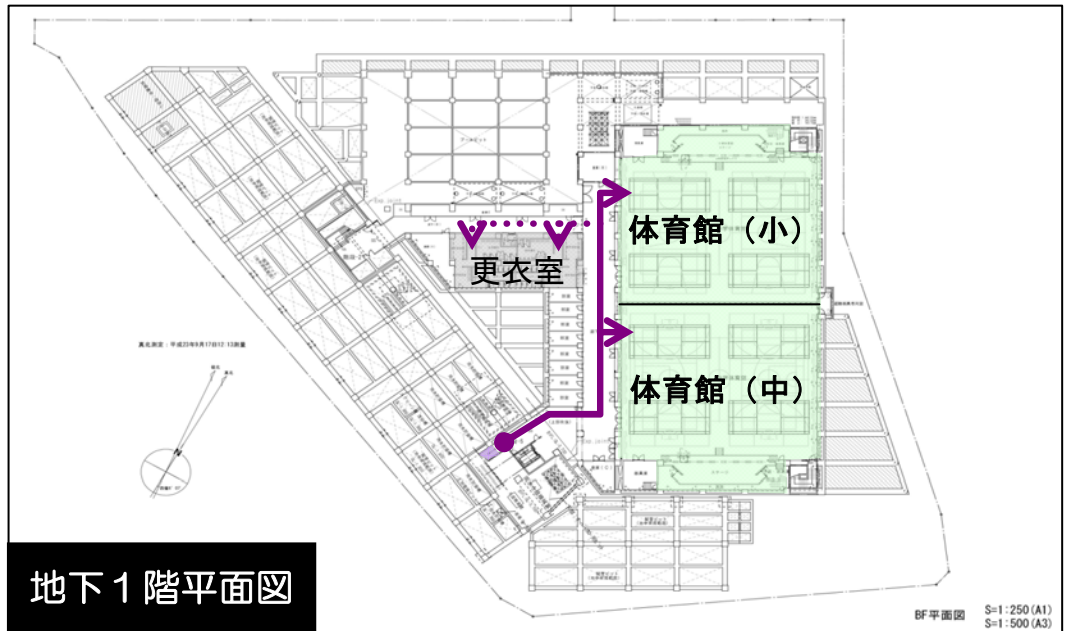
※なお、利用団体間の調整を行う組織については、今後別途検討する。

4. 利用者の動線計画

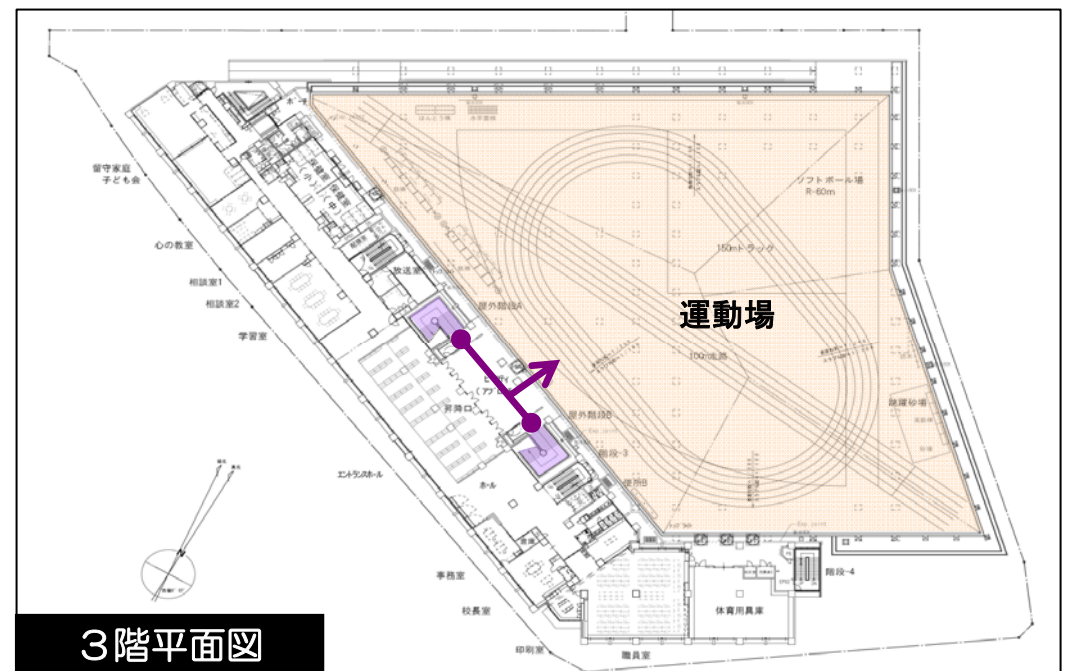
① 1階の動線



② 地下1階の動線



③ 3階の動線



5. プールの開放について

プール開放の時期及び対象などについて、以下の3つのケースを基に検討を行う。

○開放の期間

- ・住吉小学校は夏季休業中の10日間、校区内の小学校児童に対してプール開放を実施。(24年度実績)
- ・なお、市内の中学校ではプールの開放は行っていない。

●ケース① 現状どおりとする

●ケース② 夏季休業中を含む6月～9月の期間において一般開放を行う

○懸案事項

- ・個人での利用が中心となり、校区内外の不特定多数の市民が学校施設に入ることになるため、開放期間中は相応のセキュリティ対策を講じる必要がある。また、アクセサリーやヘアピンなどの落下による事故や、化粧による水質汚濁に十分留意する必要がある。
- ・一般開放に伴い別途維持管理経費が生じるため、利用者に応分の負担をしていただく必要がある。

○利用料金設定の例 ※開放時間は、平日17～21時・土日祝日10～21時で積算

- ・必要経費：4,600,000円
- ・同時期の博多市民プール利用者数(3万人)の1/4が利用した場合
 $4,600,000円 \div 7,500人 \doteq 610円$

●ケース③ 年間を通し一般開放を行う

○懸案事項

- ・校区内外の不特定多数の市民が年間を通して学校施設に入ることになるため、さらなるセキュリティ対策を講じる必要がある。
- ・新設校のプールはあくまでも学校施設としての整備を行うため、市民プールやスポーツクラブなどと同水準のサービスを提供することは困難。

○利用料金設定の例 ※開放時間は、平日17～21時・土日祝日10～21時で積算

- ・必要経費：24,800,000円
- ・博多市民プールの年間利用者数(6万2千人)の1/4が利用した場合
 $24,800,000円 \div 15,500人 \doteq 1,600円$

※参考：近隣のスポーツ（プール）施設の状況

- ①セントラルウェルネスクラブ 天神ソラリア店（中央区天神2丁目）
- ・法人料金 550円/回（別途月会費10,500円）・シングル会員10,290円/月 等
 - ・利用時間の制限はなく、プール、スタジオ、ジム、レッスンの利用が可能
- ②博多市民プール（博多区東那珂1丁目） ※利用時間：2時間
- ・夏期（5～10月） 一般320円 高校生160円 小・中学生110円
 - ・冬期（11～4月） 一般390円 高校生210円 小・中学生160円
- ③福岡市民体育館プール（博多区東公園） ※利用時間：2時間
- ・夏期（5～10月） 一般320円 高校生160円 小・中学生110円
 - ・冬期（11～4月） 一般390円 高校生210円 小・中学生160円
- ④アクション福岡（県立総合プール・博多区東平尾） ※利用時間：2時間
- ・一般450円 中・高校生350円 小学生250円

・住吉中ブロック小中連携校の開校までの流れ

年月		事業工程	施設部会・説明会	内容			
平成23年度	4月	基本計画	第1回施設部会	校舎配置計画の検討			
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	基本設計	第4回施設部会	基本設計の検討①			
	11月		第5回施設部会	基本設計の検討②			
	12月		第6回施設部会	基本設計の検討③			
	1月		住民説明会	施設配置計画説明会			
	2月		第7回施設部会	基本設計のまとめ			
	3月						
平成24年度	4月	実施設計	住民説明会	美野島小解体工事説明会			
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月				第8回施設部会	実施設計中間報告他	
	10月				積算精査	第9回施設部会	実施設計最終報告他
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
平成25年度		建設工事	住民説明会	新校舎建設工事説明会			
			第10回以降	<ul style="list-style-type: none"> 施設開放体制の検討 学校整備備品の検討 その他 			
平成26年度							
平成27年度	新校舎開校						

◆住吉中ブロック小中連携校新設工事实施設計の中間報告

受託業者・設計期間

[建築]：回・舛本設計業務共同企業体 平成24年2月28日～平成24年11月15日
 [設備]：株式会社設備総合計画 平成24年2月28日～平成24年11月15日

建物概要

敷地面積：約11,000㎡
 階数：地上6階/地下1階
 延床面積：約24,000㎡
 構造：[校舎棟] 鉄筋コンクリート造 [運動場棟] 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

設計主旨

- ①『周辺地域との共存を図る施設配置計画』
 - ・周辺環境に配慮し、建物の高層化を抑えることを第一に考え、同時に限られた敷地を最大限有効に活用するため、運動場を人工地盤形態とし、運動場下に体育施設を配置した。
 - ・北側マンションや東側低層住宅などの近隣住宅に対する圧迫感を軽減するため、南西側に校舎を配置するとともに東側に歩道上空地や遊具広場を設置するなど、周辺環境へ配慮した施設配置とした。
- ②『9年間の教育課程に一貫性を持たせた教育環境整備計画』
 - ・小中学校の普通教室については同フロアに両校種を配置し、特別教室については同種の教室を隣接させることにより、異種校種間の交流促進や学びの連続性に配慮した。
 - ・ランチルームや普通教室の配置される各階に交流ホールを設置するなど、校種や学年を超えた交流可能なスペースを配置した。
- ③『教育環境や社会環境の変化に対応可能な計画と地域開放施設を集約した計画』
 - ・教室間の間仕切りを遮音性に配慮しつつも、改修可能な軽量鉄骨造でつくるなど、将来にわたりフレキシビリティの高い施設とした。
- ④『環境に配慮し自然エネルギーを取り入れたエコスクールの実現』
 - ・地中熱を利用したクール・ヒートトレンチの採用や、太陽光発電パネルの設置、雨水再利用の為に貯留槽を整備する。
- ⑤『歴史の継承とまちづくりを考えた地域の拠点施設として計画』
 - ・旧校の歴史を保存展示するメモリアルコーナーや資料倉庫の設置。
 - ・敷地周囲を歩道状空地として整備することにより、児童生徒や地域の方々の歩行の安全性や車両通行時の見通しに配慮した。

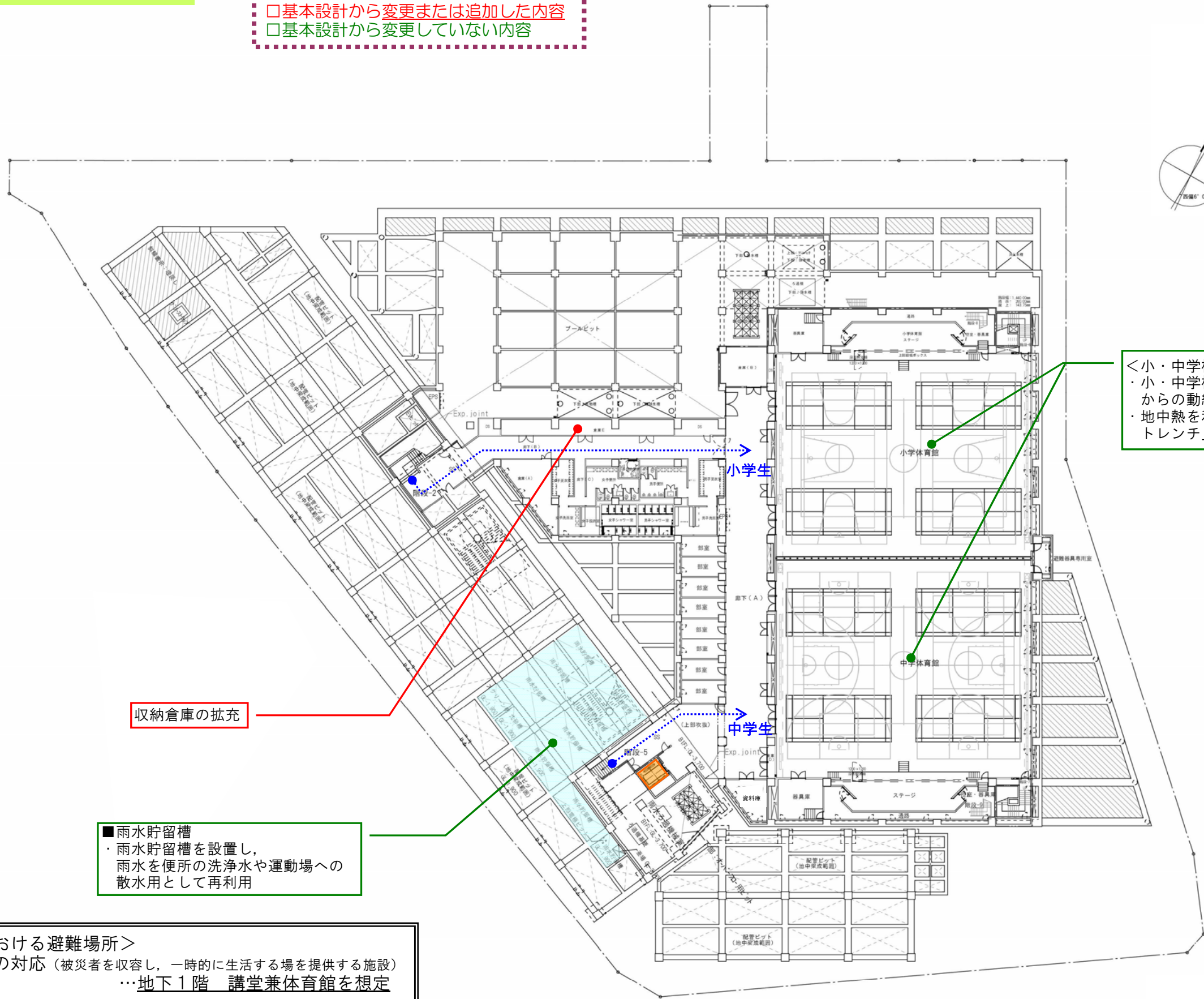
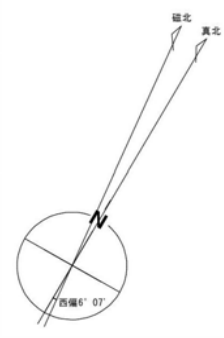


スケジュール

	H24			H25			H26			H27	
連携校建設工事	実施設計			積算精査	契約手続	建設工事					
美野島小学校解体工事	契約手続	解体工事									
その他	●小学校統合	●住吉小開校記念式典									
										開校準備	
										新設校開校	

平面計画の概要（地下1階平面図）

＜凡例＞
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容



＜小・中学校 講堂兼体育館＞
 ・小・中学校ゾーン配置（4～6階）からの動線を考慮
 ・地中熱を利用した「クール・ヒートトレンチ」の採用

収納倉庫の拡充

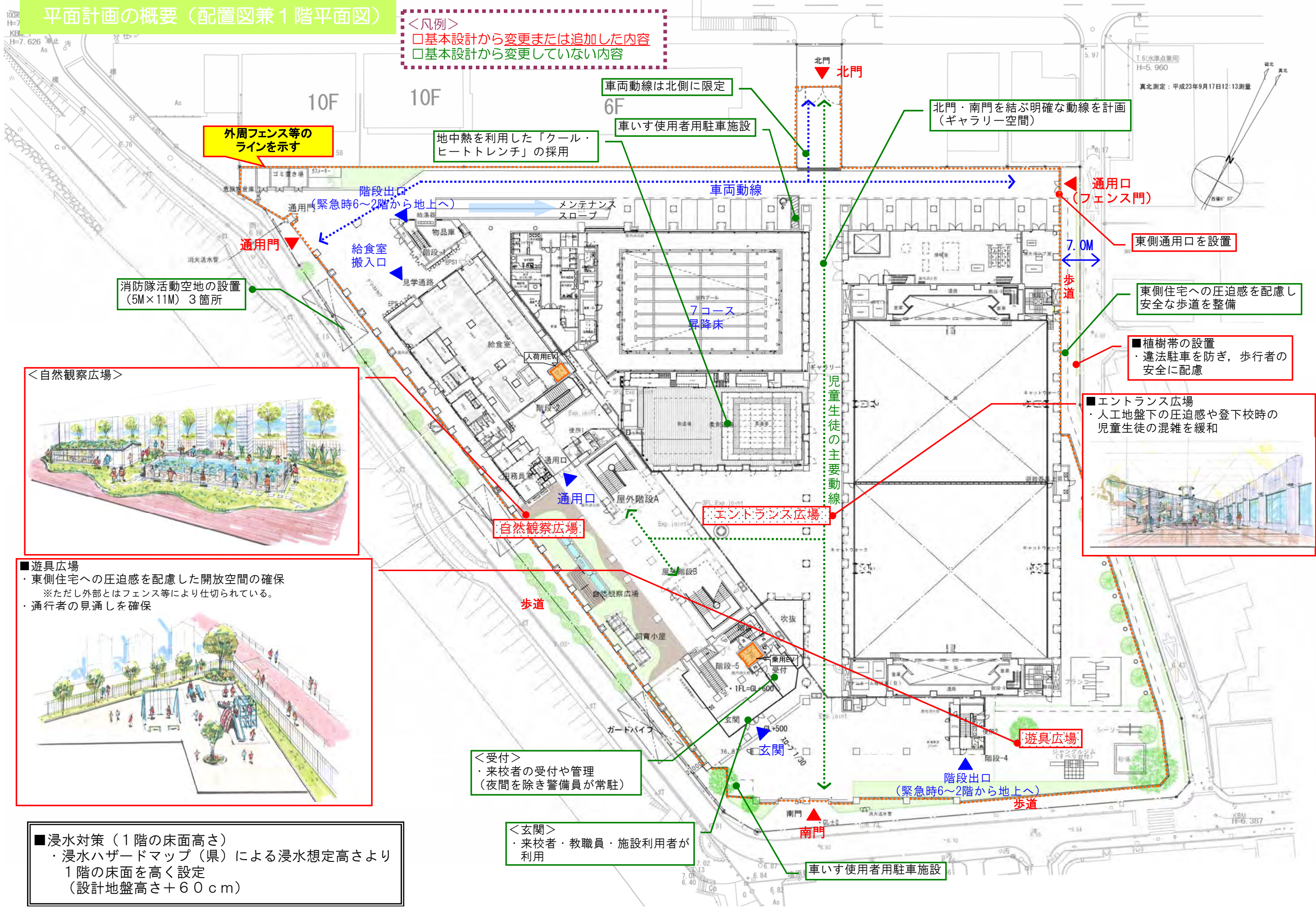
■雨水貯留槽
 ・雨水貯留槽を設置し、雨水を便所の洗浄水や運動場への散水用として再利用

＜地域住民の災害時における避難場所＞
 ■収容避難所としての対応（被災者を収容し、一時的に生活する場を提供する施設）
 …地下1階 講堂兼体育館を想定

- ・非常用発電機の設置（講堂兼体育館への電力供給）
- ・上水道の破断に備えて、受水槽からの給水系統とする。
- ・雨水を雑用水として再利用する。

平面計画の概要 (配置図兼1階平面図)

<凡例>
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容



外周フェンス等のラインを示す

地中熱を利用した「クール・ヒートトレンチ」の採用

車両動線は北側に限定

車いす使用者用駐車施設

北門・南門を結ぶ明確な動線を計画 (ギャラリー空間)

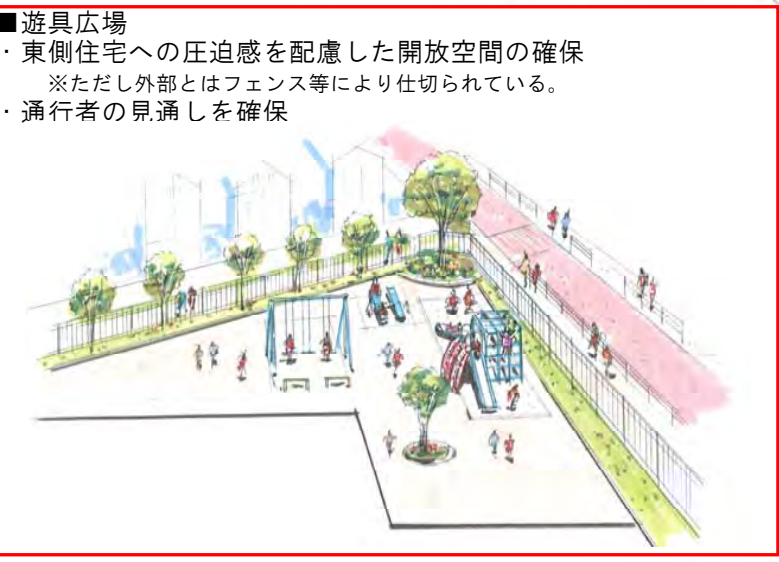
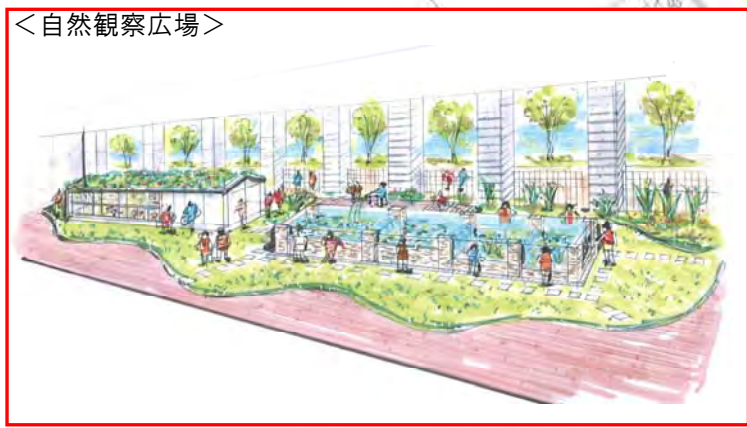
消防隊活動空地の設置 (5M×11M) 3箇所

東側通用口を設置

東側住宅への圧迫感を配慮し安全な歩道を整備

■植樹帯の設置
 ・違法駐車を防ぎ、歩行者の安全に配慮

■エントランス広場
 ・人工地盤下の圧迫感や登下校時の児童生徒の混雑を緩和



■浸水対策 (1階の床面高さ)
 ・浸水ハザードマップ (県) による浸水想定高さより1階の床面を高く設定 (設計地盤高さ+60cm)

<受付>
 ・来校者の受付や管理 (夜間を除き警備員が常駐)

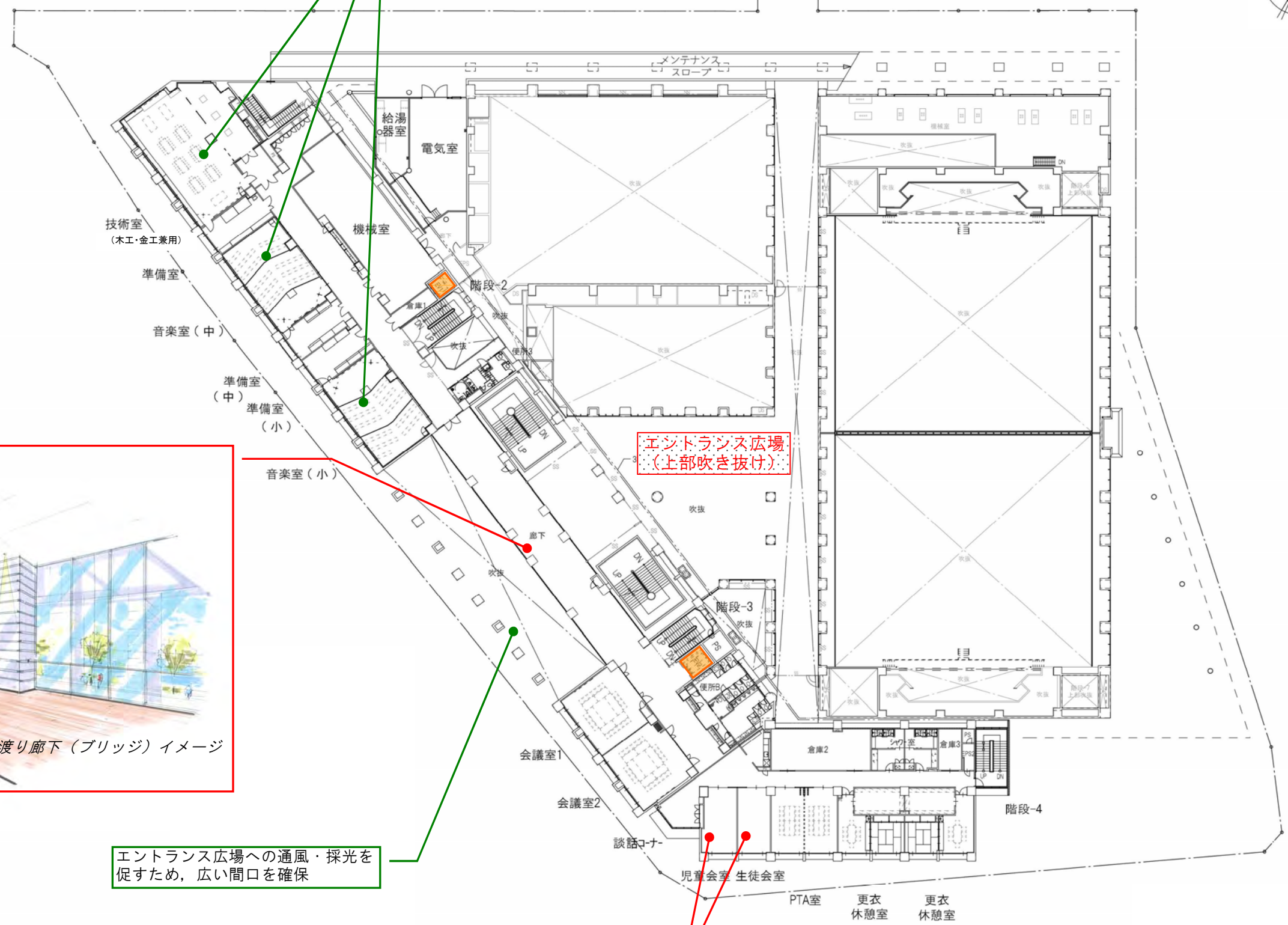
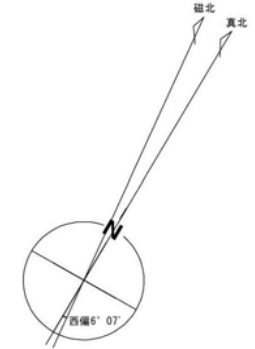
<玄関>
 ・来校者・教職員・施設利用者が利用

車いす使用者用駐車施設

平面計画の概要 (2階平面図)

- <凡例>
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容

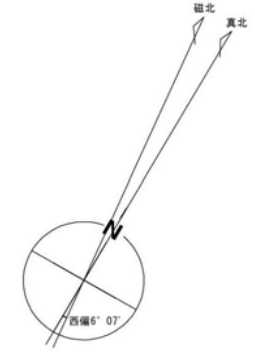
音の出る特別教室<技術室>, <音楽室(小)・(中)>は, 周辺地域や他の教室への影響が少ない場所に配置



エントランス広場への通风・採光を促すため, 広い間口を確保

◆室の入れ替え
 ・基本設計時に2階に配置していた相談室1・2と3階の児童会室・生徒会室を入れ替え

平面計画の概要 (4階平面図)



<凡例>
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容

小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進

<特別支援学級>
 ・普通学級の児童生徒との交流を図るため
 校種ごとのまとまりを重視し、小・中それぞれの普通学級に近接した場所に配置

<交流ホール> (共通)
 ・建物を分節し、長い廊下に対して
 「自然採光・自然通風」の確保
 ・ベンチ、手洗い等の設置

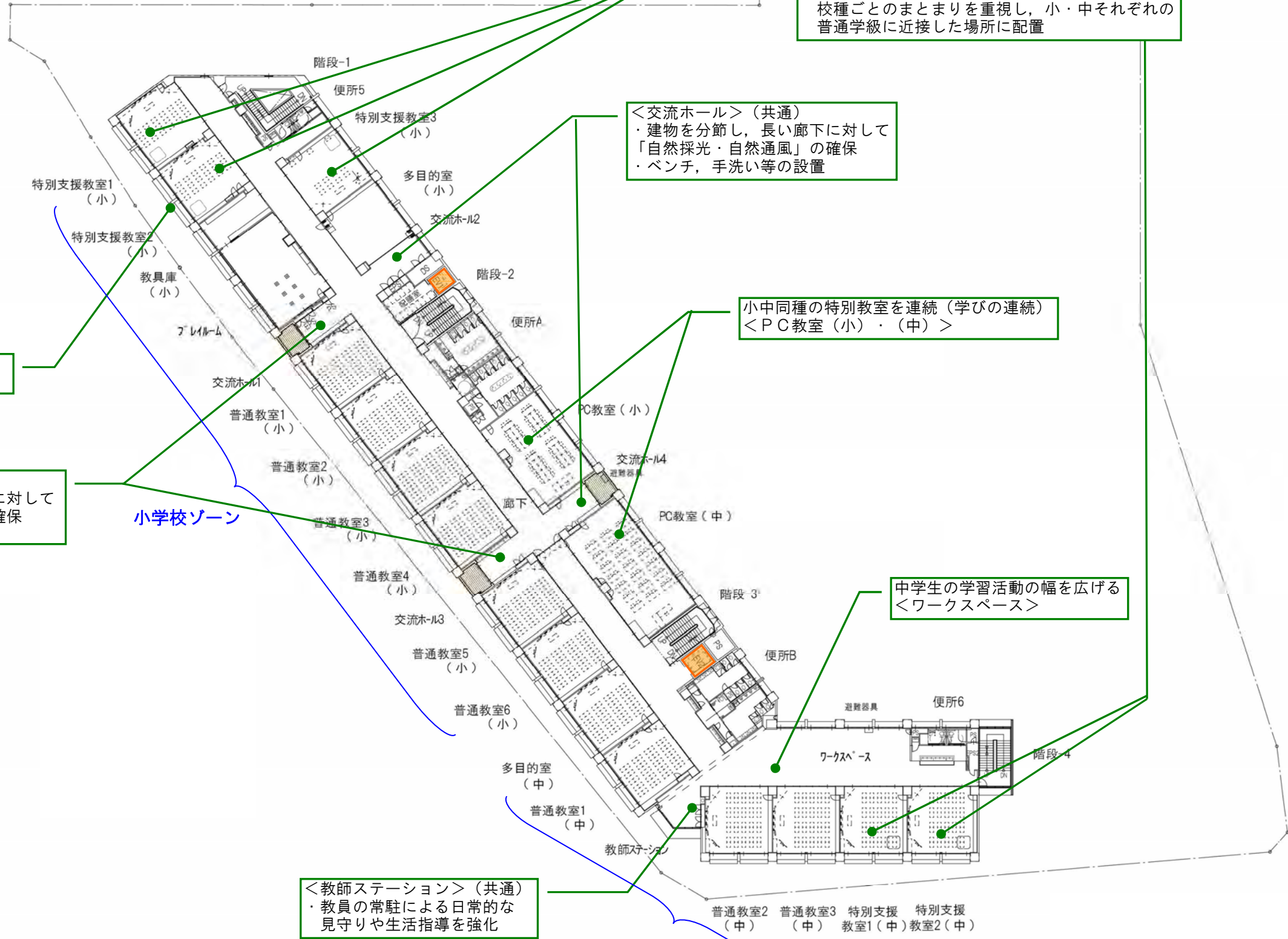
小中同種の特別教室を連続 (学びの連続)
 <PC教室 (小)・ (中)>

西日の強い日射を低減する
 「縦ルーバー (日よけ)」の設置

<交流ホール> (共通)
 ・建物を分節し、長い廊下に対して
 「自然採光・自然通風」の確保
 ・ベンチ、手洗い等の設置

中学生の学習活動の幅を広げる
 <ワークスペース>

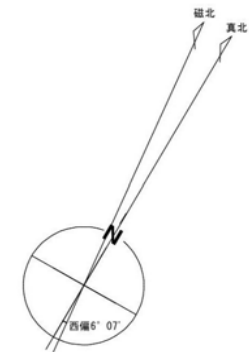
<教師ステーション> (共通)
 ・教員の常駐による日常的な
 見守りや生活指導を強化



小学校ゾーン

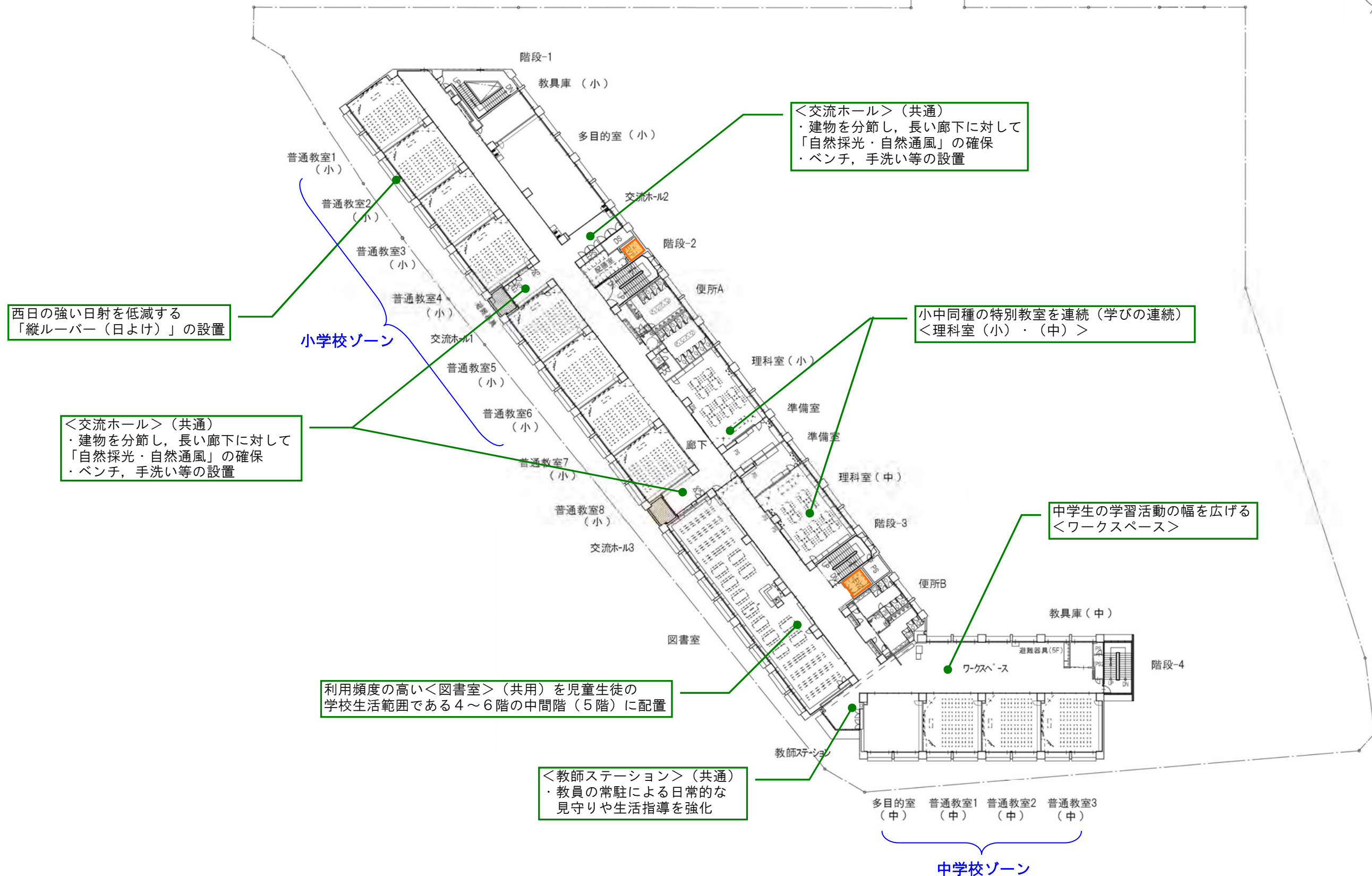
中学校ゾーン

平面計画の概要 (5階平面図)

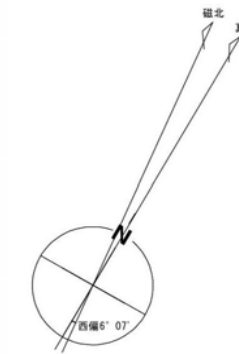


小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進

- <凡例>
- 基本設計から変更または追加した内容
 - 基本設計から変更していない内容

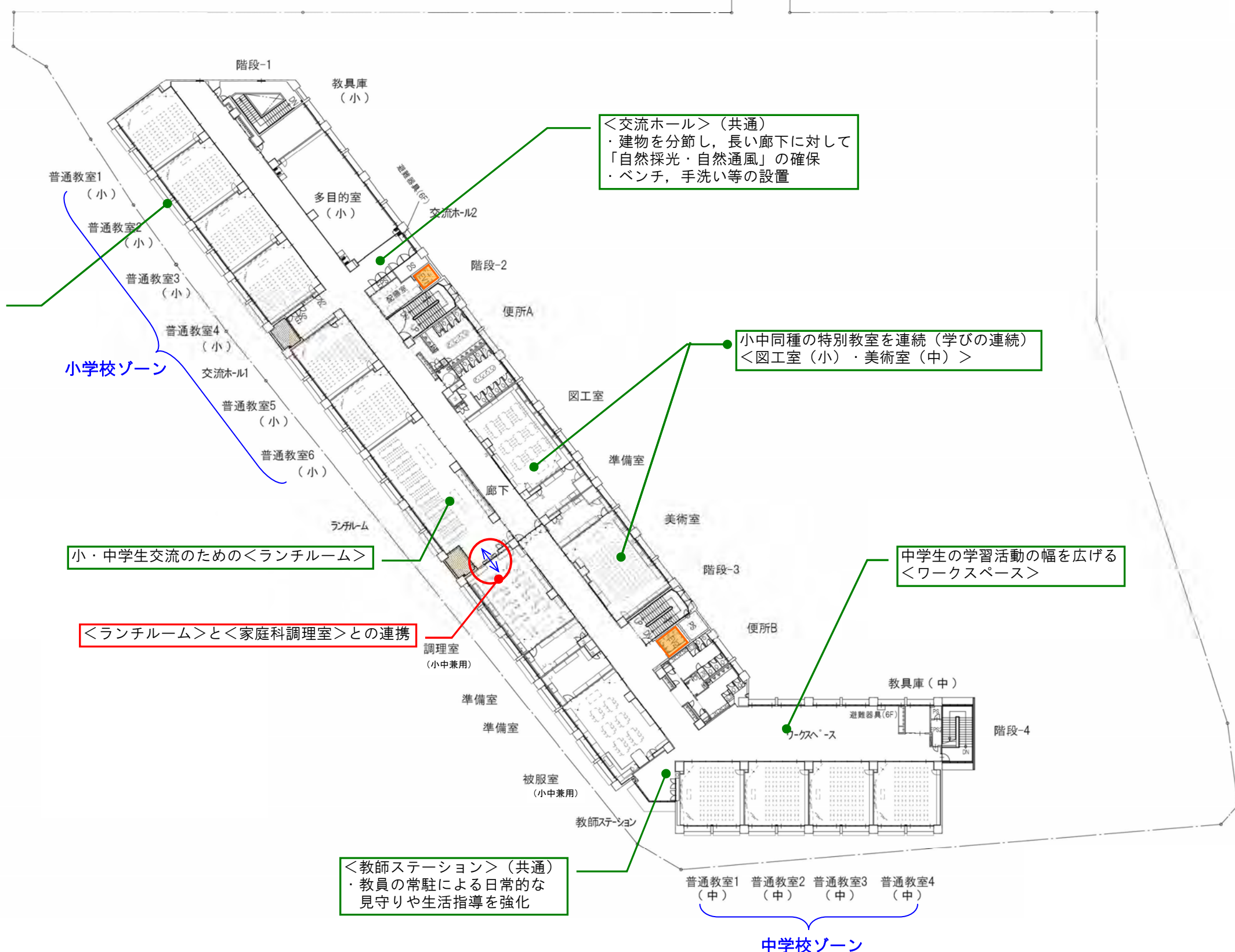


平面計画の概要 (6階平面図)



小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進

<凡例>
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容



西日の強い日射を低減する「縦ルーバー(日よけ)」の設置

小学校ゾーン

<交流ホール> (共通)
 ・建物分節し、長い廊下に対して「自然採光・自然通風」の確保
 ・ベンチ、手洗い等の設置

小中同種の特別教室を連続(学びの連続)
 <図工室(小)・美術室(中)>

小・中学生交流のための<ランチルーム>

<ランチルーム>と<家庭科調理室>との連携

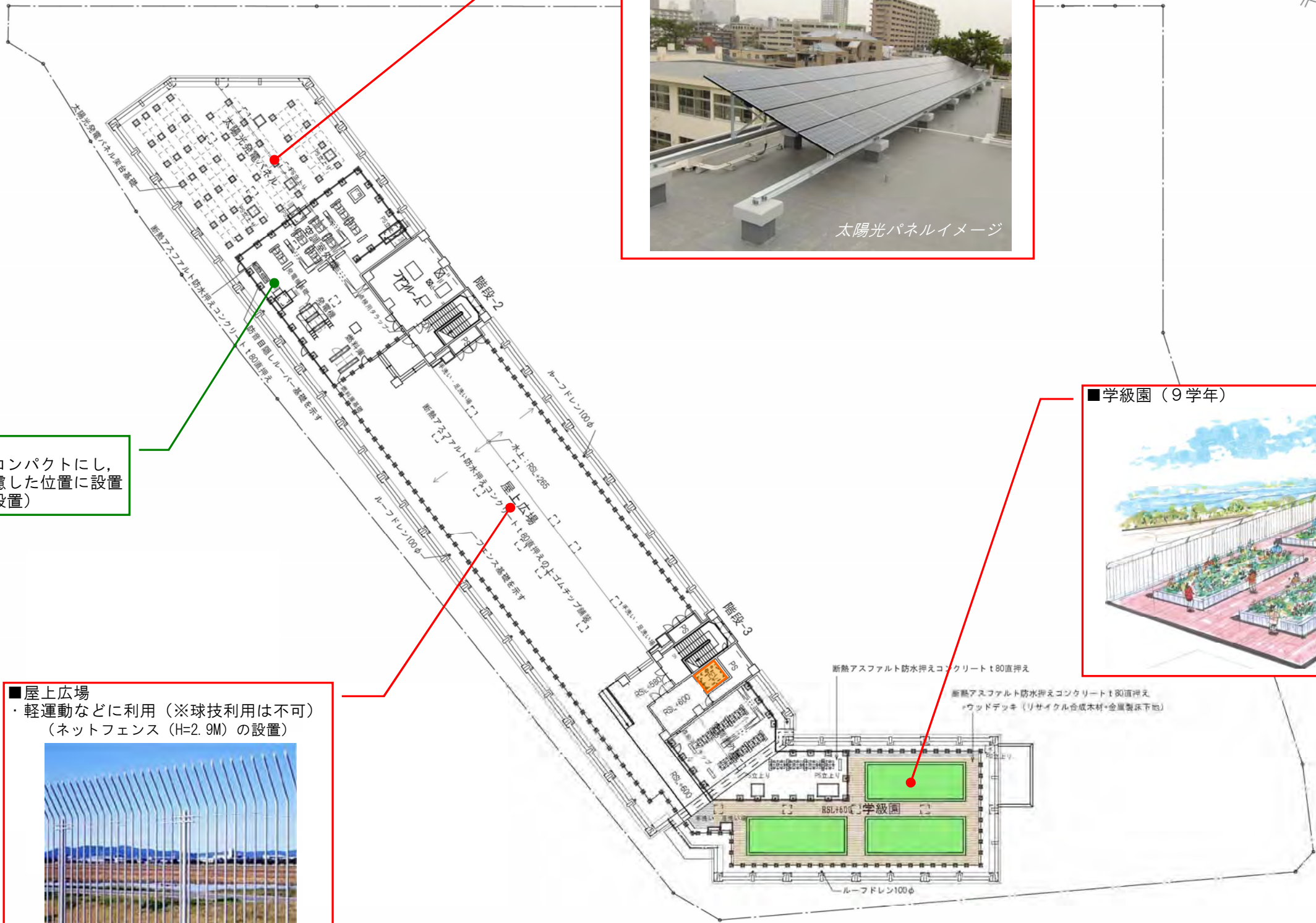
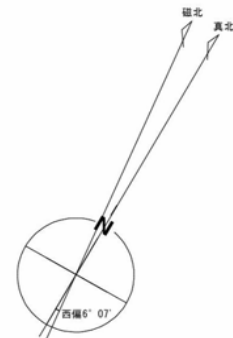
中学生の学習活動の幅を広げる<ワークスペース>

<教師ステーション> (共通)
 ・教員の常駐による日常的な見守りや生活指導を強化

中学校ゾーン

平面計画の概要 (屋上平面図)

- <凡例>
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容



■太陽光パネル
 ・省エネ，環境教育のための設置

太陽光パネルイメージ

■室外機置場
 ・室外機置場をコンパクトにし，北側住宅へ配慮した位置に設置 (防音パネル設置)

■学級園 (9学年)

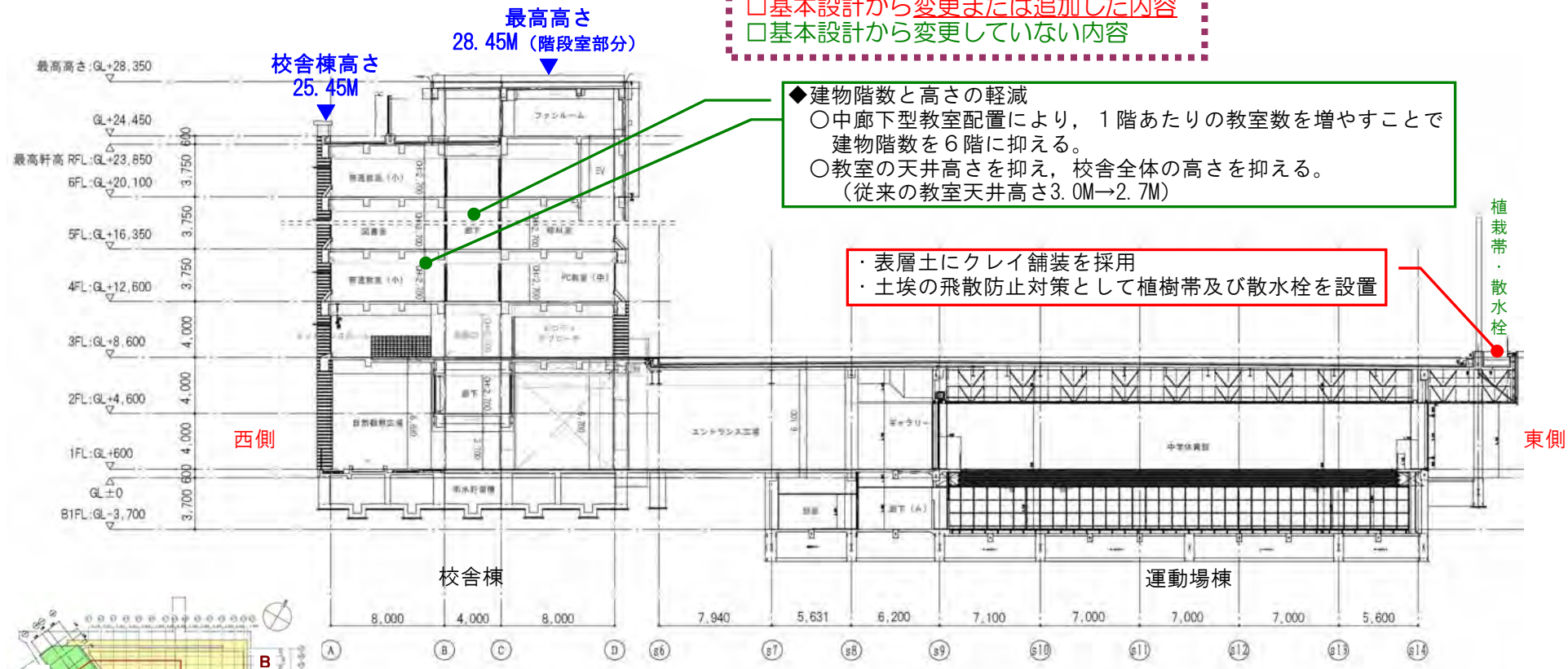
学級園イメージ

■屋上広場
 ・軽運動などに利用 (※球技利用は不可) (ネットフェンス (H=2.9M) の設置)

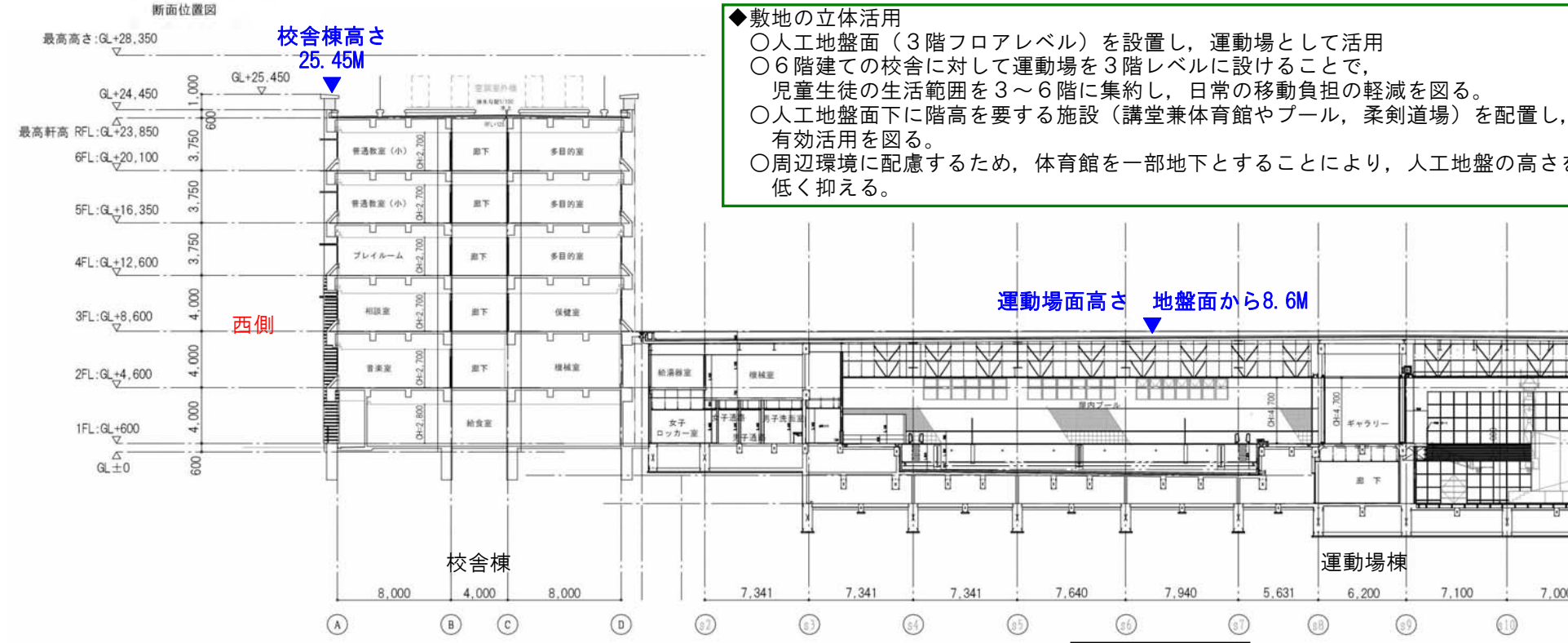
フェンスイメージ

断面計画の概要 (断面図)

<凡例>
 □基本設計から変更または追加した内容
 □基本設計から変更していない内容

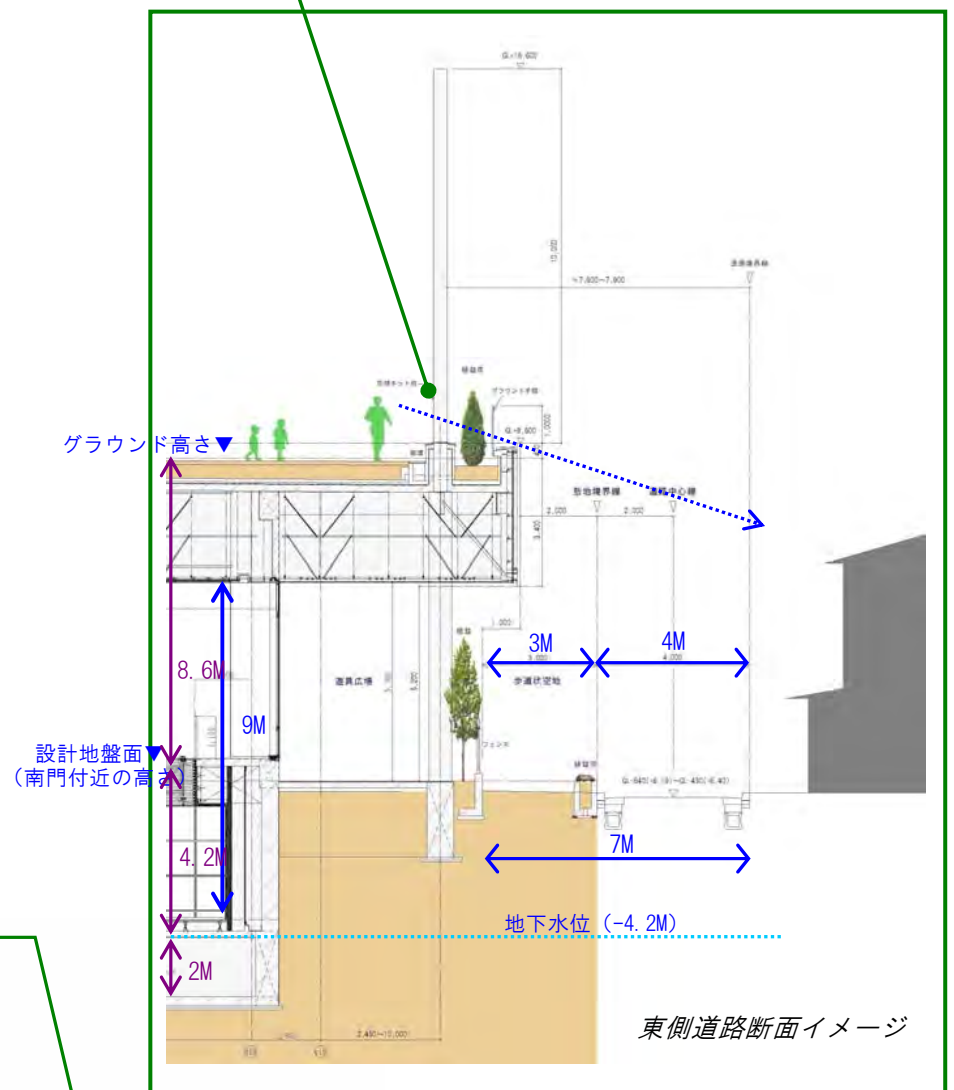


A-A断面図



B-B断面図

児童生徒が運動場内で人工地盤面の端に近づける範囲は、防球ネットが制限されることから、周辺の2階建て程度の住宅へ見下ろす感じとはならない。(植樹帯も設置)

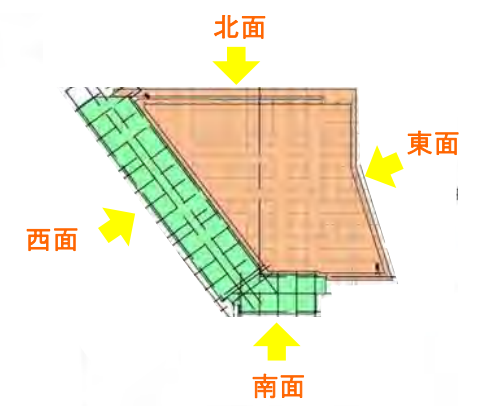


東側道路断面イメージ

立面計画の概要 (立面図)



東側立面図

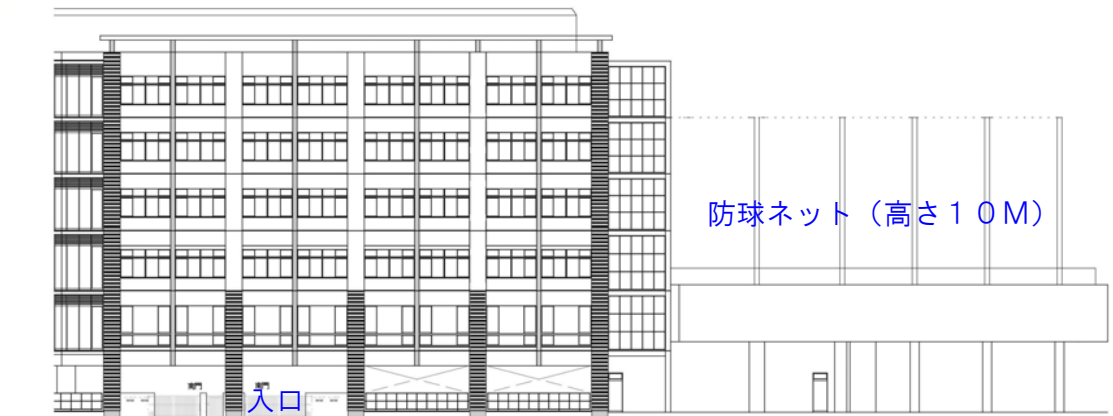


北側立面図



西側立面図

西日の強い日差しを低減する「縦ルーバー (日よけ)」の設置



南側立面図

美野島小学校校舎の解体工事について（報告）

1. 工事期間(契約期間) 平成24年7月14日 ～ 平成25年1月31日

※平成24年8月16日から資材搬入等を開始

2. 施 工 業 者 橋本・川島・二木建設工事共同企業体

3. 解体工事説明会

(1) 日 時：平成24年7月25日（水）

19：00～19：40

(2) 場 所：美野島公民館 講堂

(3) 参加者数：近隣にお住まいの方々 18人

(4) 説明内容：別紙の当日配付資料のとおり

○施工に関して（作業時間、交通対策、騒音・振動対策、粉塵対策）

○工程表（スケジュール）

○1日作業スケジュール

○平面図

(5) 説明会での主な質疑応答：2ページに記載のとおり

◎説明会での主な質疑応答

Q：仮囲いは中が見えるようにしてほしい。

A：要望どおり対応する。

Q：敷地の一番近いところ音はどの程度か。

A：約5m離れたところで80db程度。（例：地下鉄の車内の音）

Q：作業員は最大何名になるのか。

A：最大で50名程度と考えている。

Q：工事車両の搬入は歩道橋で見えにくいため、児童・生徒の通行に注意してほしい。

A：工事車両の出入口（北門）には交通誘導員を配置し、誘導を行う。

Q：掲示板の設置位置を南西側から東側道路に変更してほしい。

A：要望どおり対応する。

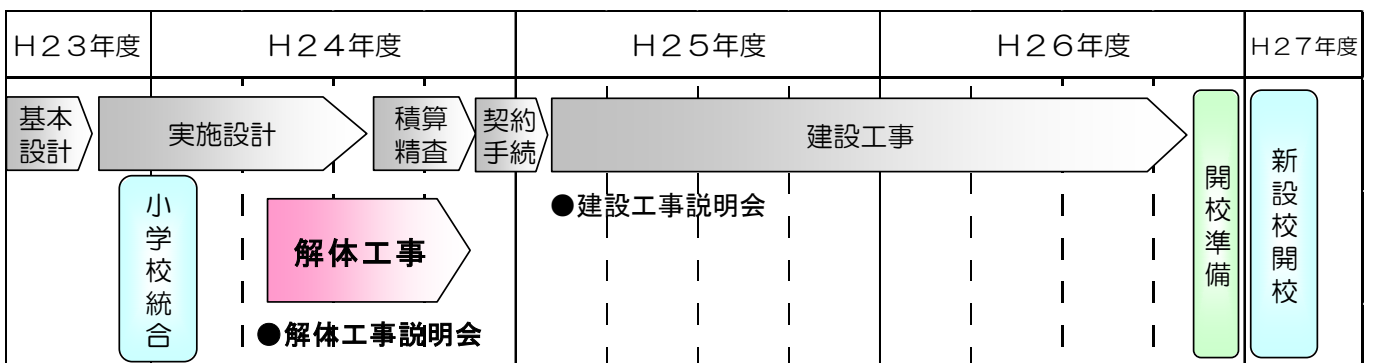
Q：百年橋通りに工事車両を待機させないようにしてほしい。

A：車両の待機は原則禁止する。

Q：美野島小の現校舎がなくなるため、残してほしいものがある。

A：後日、現地で確認の上、可能な範囲で取り置きをする。

◎参考：全体スケジュール



新しい校章について

1. 前回の決定事項

- 基本となる校章デザインは『リング』とする。
- 『リング』内の「住」の字体について、「篆書体^{てん}」、「楷書体^{かい}」のデザインのもの
を次回の開校準備委員会にて提示する。
- 下記の『なみ』については、校章としては使用せず、例えば旗や横断幕への活用などを学校において検討する。



2. 本日の委員会で決定する事項

- 本日提示する以下の3つのデザインから、最終校章デザインを決定する。
 - ・パターンA「前回提示の字体」… 2ページ
 - ・パターンB「篆書体^{てん}」… 3ページ
 - ・パターンC「楷書体^{かい}」… 4ページ

3. その他

- 校章の色については単色でのデザイン案を提示しているが、今後、旗や印刷物、背景色など使用する場面によって複数色での展開がより適切である場合も考えられることから、使用する場面に応じた色の展開については学校の裁量とする。
色の参考例として、青色を使った場合の展開例を資料の5ページに掲載。



校章デザイン案 パターンA 「前回提示の字体」



校章デザイン案 パターンB 「篆書体」^{てん}



校章デザイン案 パターンC 「楷書体」^{かい}



参考：色の展開例

【パターンAの場合】



【パターンBの場合】



【パターンCの場合】



住吉小学校校歌について

1. 前回の決定事項

- 「美野島」の文字は「蓑島」に変更する。
- 「博多の歴史」の歌詞については、原案どおりとする。
- 歌詞の地史的な流れである「那珂川」→「那の津江」→「筑紫の山」については、原案どおりとする。
- 「六百」の歌詞を使用することの是非については、作詞者に一任する。

2. 作詞者確認事項

- 「真理」の読み方については、「まこと」。
- 「六百」の歌詞については、「新生」住吉小学校の開校を一つの区切りとしてとらえ、その開校時の様子を後世に伝えたいと考えるため、原案どおりとしたい。

3. その他

- 「希望に向かって 伸びていく」の歌詞については、歌の響きを考慮し、「伸びていく」を「伸びてゆく」に修正。
- 最後に「われら われらの 住吉小学校」の歌詞を追加し、繰り返しのフレーズとする。

4. 最終歌詞案

- 次ページのとおり。

※参考資料として、3ページ以降に楽譜を添付。

住吉小学校 校歌（最終案）

「希望に向かつて」

一

朝日輝く 那珂川の
窓辺に清く 見るところ
賢く知恵を 磨きつつ
すすんで学ぶ 真理の道を
われら われらの 住吉小学校

二

いわれもゆかし 那の津江に
浮かぶ 養島 夢のごと
みんな仲良く よく鍛え
明るく元気に 平和の道を
われら われらの 住吉小学校

三

筑紫の山を 仰ぎ見て
博多の歴史 つぐわれら
しっかり働き 世を創る
友と手を取り 未来の道を
われら われらの 住吉小学校
生い立つ健児 六百の
希望に向かつて 伸びてゆく
われら われらの 住吉小学校
われら われらの 住吉小学校

福岡市立住吉小学校 校歌

「希望に向かって」

作詞：窪 淳朗

作曲：二宮 毅

Moderato quasi allegretto

The piano introduction consists of four measures in 4/4 time. The right hand plays a series of chords, starting with a major triad and moving through various chordal textures. The left hand plays a rhythmic accompaniment of eighth notes, with some measures featuring beamed eighth notes and others with single notes. The piece begins with a forte (*f*) dynamic.

The vocal line and piano accompaniment for the first four measures of the song. The vocal line is in 4/4 time and begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The lyrics are written below the notes. The piano accompaniment continues from the introduction, with the right hand playing chords and the left hand playing a rhythmic pattern. The piano part also begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic.

mp

あ さ ひ か が や く な か が わ の
い わ れ も ゆ か し な の つ え の
ち く し の や ま を あ お き み て

まどべに きよ く み る と こ ろ
 うかーぶの き し まし め め の こ ー ろ
 はかたの れ き し まし つ ぐ わ れ ー ら

※ *mf* ※ *time*

か し こ なく ち え を み が き つ つ
 み ん な くなり か よ く よ ろ が く き つ た つ
 お い た つ は た ら き ろ ー び や く の

す す ん で ま な ー ぶ ま こ と の み ち を
 あ か る ぐ げ ん き に い わ の み ち を
 と き ぼ う に む か と っ て ら い の み ち を
 の ー び て ゆ ー く

f to Coda 1, 2

わ れ ら わ れ ら の す み よ し し ょ う が っ こ う
 わ れ ら わ れ ら の す み よ し し ょ う が っ こ う
 わ れ ら わ れ ら の す み よ し し ょ う が っ こ う
 わ れ ら わ れ ら の す み よ し し ょ う が っ

D.C. (2nd time only)

3 Coda

こ う こ う わ れ ら わ れ ら の す み

mf

D.S. al Coda

allargando

よ し し ょ う が っ こ う

ff